



松枝 友久 議員

《一般質問》

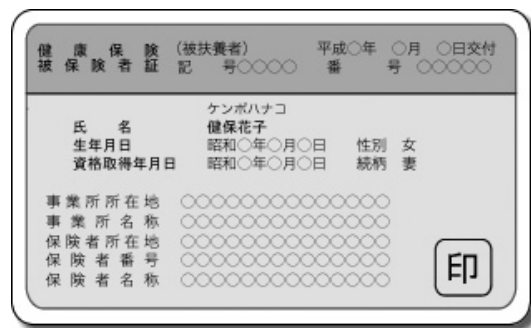
国民健康保険被保険者証のカード化を問う

更新時期である平成26年度に個人カード化を図りたい



町長 これまでは、個人カード化に伴うインシャルコスト、発行枚数増加に伴う紛失などのトラブル増加などからこれまで見送ってきた経緯がある。しかし個人カード化のニーズが高まっている状況が生じてきており、他の市町村における導入状況も踏まえ、被保険者の利便性の確保を図る観点から被保険者証の個人カード化の導入に向け検討・準備を進めていきたい。

問 本町では、世帯単位の国民健康保険被保険者証であるために病院、医院に行く時に家族で重なった場合、非常に困ることがある。特に高齢者や乳幼児が同居する世帯ではこの事がよくあるため、カード化を切に希望する話をよく聞く。
県の資料によるとカード化を実施している市町村が32で県下60市町村のうち半分以上が実施し、未実施の28市町村のうち16市町村が実施予定となっている。
個人カード化のニーズも高まっているなか、取り組みについて問う。



健康保険カード(イメージ)

問 実施時期について、明らかな回答を願う。
町長 平成26年度の更新時期にあわせてカード化を図っていききたい。

問 景観及び土地利用計画について問う。
昨年、景観ワークショップ及び区長会の要望書を提出し、25年度の当初予算に早速計上され、高く評価するものであるが、検討委員会の進捗状況を尋ねる。
企画課長 昨年11月7日に議会から、大木町景観・土地利用計画についての提言書を受け、本年度から景観及び土地利用のあ



景観ワークショップのようす



景観ワークショップのようす

問 問題・苦勞もあつたと思いが、新年度から5か月経ってやっと委員会の設置とは。
もととスピード感を持って取り組んでもらいたい。
企画課長 公益法人福岡建築士会と4月15日より協議を重ね、7月1日に委託契約書を交わした。また、委員の公募期間が必要であり、委員会開催前に事務局会議を6回と作業部会を1回開催するなど、検討事項の整理や資料の作成を行い、このようなスケジュールになった。

問 この準備委員会の方向性を早く決定され景観及び土地利用計画策定に向け適進されることを要望する。
企画課長 景観ワークショップにおいて多くの町民の皆さんからいただいた意見を尊重し、これまでの本町において積み重ねてきたまちづくりの取り組みや町総合計画の理念・将来像を踏まえ、将来に向けた大木町の景観や土地利用のあるべき姿を描き、最終的にはその実現に向けた具体的な手立て、手段・方法を構築することを目標として検討を進める。
最終的な具体的手法の検討については、次の段階の検討委員会等の編成も踏まえて検討していただくことになる。

大木町議会行政視察

去る8月8日、昨年の九州北部豪雨被災地である柳川市を視察研修した。柳川市では被害状況及び復旧状況、そして災害発生時の住民への情報伝達並びに避難指示伝達(災害時要援護者)及び避難状況等の説明を受けた。

水害復興生活支援室の設置をはじめ、16項目の多岐にわたる復興支援対策をとられていた。

今後の災害対策として(1)情報伝達の整備(2)上流域のリアルタイム防災情報の取得(3)自主防災組織の育成(4)多くの避難所の確保(5)災害時の物資調達確保(6)実践的な防災訓練の実施(7)河川堤防の補強改修事業など防災・減災対策を図られていた。大木町も住民参加型の防災・減災に努めていきたい。



浸水水位ここまで(沖端川堤防決壊による)



復旧された堤防

総務建設産業常任委員会活動報告

大木町地区いちご部会役員(地区長以下7名とJA担当者)との意見交換会 日時/平成25年9月3日(火)

意見交換会(役員からの要望等)

1. 施設等について…暖房機器の更新や省エネ設備への支援
2. 集出荷について…大木町の検査員の育成問題への支援
計画中であるパッケージセンター整備への支援
3. 販売強化対策について…町のブランド化推進と抱き合わせ宣伝販売への支援
4. 雇用型経営転換について…雇用型経営への転換に対する課題解決への支援
5. JAへのお願い…他地域のいちご部会の助成制度の調査
助成制度等の周知を徹底してほしい



意見交換会のようす

などの活発な意見が出た。常任委員会として鋭意努力することを約束した。

議会報発行特別委員会視察研修報告

場所/糟屋郡須恵町議会及び山口県田布施町議会

議会公開の原則に基づき、優良議会報発行の先進地である、須恵町議会と田布施町議会にて研修を行いました。両町議会とも議会報づくりには熱心で、読みやすく親しみやすい紙面づくりを心掛け、議会モニター制度も設けられ住民参加型の紙面づくりに取り組んでおられました。また、記事を書く際には議員目線ではなく住民の目線でわかりやすく、好感を持たれる広報づくりを心掛けること、さらに議会報発行は重要な議会活動であり、今後は常任委員会として活動することが必要であると話されていたことが印象的でした。



視察研修のようす

今回の研修を参考にしてさらにより良い議会報を目指し取り組んでいきます。